

令和5年度 学校評価結果公表シート

作成 さらな保育園

1. 本園の保育目標

仏教の教えを基に「つよく・あかるく・なかよく」をモットーに子どもの主体性を育みます。
子どもを取り巻くすべての環境を大切に子ども達一人ひとりを大切に育てます。
安定した情緒の下で生活できる環境を整えます。
家庭や地域との連携を図り、子どもの健やかな成長・発達を支援します。
全身を使って事物や人に働きかけ、体験を通して豊かな創造・想像する力を育てます。

2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

園での取り組みが園全体、保護者にも伝わるように見える保育を目指す
安全に子ども達へのより良い環境を目指す。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
・食育計画	アレルギー対応にも寄り添いながら、親御さんとの情報交換を大切に細かな連携をはかりました
・質の向上のための研修の充実	研修を十分に活用する為に、リモートでの園内研修の強化とできること実践につなげ自主的に意見を交わすように意識しています。
・保護者とのコミュニケーションを図る。	今年度も連絡帳を直接お渡しして顔を見て話すことを大切にし、子ども達の出来事は職員間で共有し、担任以外の保育士にも情報共有できるよう引き続き努力しています。 ルクミー(スマホ連絡帳)を導入し、更なるコミュニケーションを図ります
子ども一人ひとり丁寧にに関わり、安全を意識して援助する	遊具等の使用後の安全を考慮し、消毒等、子ども達の日常生活の習慣大切に過ごすことができるように努力しています。
わらべうたの日常化への充実	わらべうたが日常化できるように子どもの前でうたう意識をもち、保育士同士でわらべうた研修を共有しています。 わらべうたを紹介するなどしています

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

子ども達の安全安心を考え、環境を共有しながら方針等でできることを取り組んできたと思われる。
連携施設である幼稚園(みどり幼稚園)との連携で、子ども同士の関わりが出来るように工夫し、情報の共有を密

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
風通しの良いクラスの活動	感染防止対策から何が出来るかも考慮し保育士間で話し合い、情報を共有し実践につなげていく。
職員間のチームワークの意識	子どもたちの特質などを把握して新しいクラスでの信頼関係を築き再び情報共有を大切にする
保護者に対する情報の提供	個の情報をとらえて対応できるようにしていく。 相談されたことで困ったことなど、自己判断にならず、一度持ち帰り職員との共有後に対応することを意識していく。

6. 学校関係者の評価

令和5年度のアンケートの集計でも親御さん方が安心して預けてくれていることを認めて下さる声を頂き、今後も連携施設と共に子どもたちの成長への援助を継続して欲しいとのお言葉を頂戴した。